

重点事業評価シート

【事業番号 19：利根山光人記念美術館企画事業】

資料 2

(1) 基本施策

基本施策	基本方針 1 自主性及び創造性の尊重						
	基本施策 1-1 文化芸術活動環境の整備						
	市民が日常的に文化芸術活動を行うことができる環境の整備を図ります。 市民が多方面で活躍する芸術家の作品や表現活動にふれる機会の創出に取り組みます。						
目標達成 状況	評価指標	目標値	実績				
			R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
	a さくらホールの利用者数	289,000 人	255,083 人	137,732 人	164,443 人	220,578 人	未
	b 市民芸術祭の参加者数	35,000 人	31,950 人	10,354 人	12,176 人	14,994 人	未
	c 文化芸術を鑑賞していない人の割合	18%	—	28% <small>(条例策定時アンケート)</small>	—	—	—
d 文化芸術活動をしていない人の割合	48%	—	68% <small>(条例策定時アンケート)</small>	—	80.6% <small>(R4 市民意識調査の逆算)</small>	未	

(2) 具体的取組

	担当課	生涯学習文化課		
具体的施策	芸術にふれる機会の提供			
事務事業名	利根山光人記念美術館企画事業			
事業の目的と概要	利根山光人記念美術館で企画展や移動美術館、秋の美術館まつりを開催することで利根山光人記念美術館への関心を促すとともに、芸術文化の振興を図る。			
上段：予算	R 2	R 3	R 4	R 5
下段：決算	2,193 千円	3,988 千円	2,649 千円	2,604 千円
具体的取組 (R4 年度)	<p>(1) 企画展 3回/年 ※カッコ内は観覧・参加者数</p> <p>R4：①光人とドン・キホーテ (249 人)、②佐藤清美展 (283 人)</p> <p style="padding-left: 20px;">③色即是空 阿部龍一展 (403 人)</p> <p>(2) 移動美術館 1回/年</p> <p>R4：花巻空港で利根山光人の版画とパネルを展示</p> <p>(3) 秋の美術館まつり 1回/年</p> <p>R4：児童向けに屋外でお絵描きを企画。台風で中止。(申込 13 名)</p> <p>(4) こどもアートスクール 1回/年</p> <p>R4：市内の工業高校生と一緒にプラ板キーホルダーを制作。(小学生 9 名)</p> <p>(5) 絵画教室 全 10 回/年</p> <p>R4：静物デッサン基礎、油彩画、水彩画の指導 (受講者 9 名)</p>			

具体的取組の 達成度を測る 評価指標	具体的取組指標	目標値	実績値	
		R 7	R 3	R 4
	入館者数		1,840 人	930 人
担当課の 事後評価	目標達成状況	A : 順調		
	達成状況の 分析	コロナ禍により制限はあったが、可能な範囲で絵画教室、企画展、移動美術館、各種体験イベントを開催し、文化芸術への関心を高めることができた。		
	問題点・課題 等	子ども向けの企画について、天候不順で中止、また参加人数が募集予定数を下回ったものがあり、子どもと美術館との接点が例年より少なかった。今後多くの世代に対して美術作品にふれる機会を創出するため、魅力ある美術館の在り方について検討が必要。		
目的を達成 するための 今後の取組 の方向性	<p>(1) 企画展 (2) 移動美術館、(5) 絵画教室について</p> <p>◎美術に触れる裾野を広げるため、継続実施。</p> <p>▲課題はターゲット層にあった広告強化。</p> <p>→岩間正男展から江釣子 PAL ショッピングセンターの動画広告に参入。</p> <p>今後企画展の入館者数に変化があるか検証。</p> <p>(3) 秋の美術館まつりについて</p> <p>◎子ども層に訴求する事業として継続。普段家ではやりにくい美術体験を提供することで、親の参加への意欲も促す。また、市の子育て世代用公式 LINE を活用してターゲットに向けた周知強化を図る。</p> <p>(4) こどもアートスクールについて</p> <p>◎市内の高校美術部の生徒が制作補助についてくれるため、小学生と高校生 の異年齢文化芸術交流の場として継続。</p> <p>▲課題は当該イベントの興味関心の引き方。どうしても子供向けイベント は冬休み期間に集中傾向（科学実験やプログラミング体験など）。</p> <p>(6) 美術アウトリーチの実施（新規）</p> <p>◎今まで訴求してこなかった未就学児のアウトリーチ事業を実施予定。</p>			
一次評価 【事務局】 (目標達成へ の有効性)	令和4年度実施(1)～(5)、および新規に掲げた方向性(6)について、上記評価指標の「c:文化芸術を鑑賞していない人の割合」および「d:文化芸術活動をしていない人の割合」を改善するのに有効である。			

二次評価

【推進委員】

(一次評価を
ふまえた推進
委員意見)